

科目名	教員名
音楽基礎指導法	高倉 弘光

免許・課程

教職課程

資格課程

開講詳細

開講キャンパス	開講時期	曜日	時限	開講学年	単位数
たまプラーザ	集中	スプリングセッション	スプリングセッション	1	2

講義概要

授業のテーマ

小学校音楽科の授業について、その目的、内容、指導法について学ぶ

授業の内容

小学校音楽科の授業について、その目的、内容、指導法について学びます。特に指導法に重点を置いた講義の内容になります。理論等を学ぶ講義形式に加え、実際の授業場面を創出し音楽の授業を楽しく体験することも多く取り入れます。

到達目標

【理論的科学的思考力】我が国の音楽科教育の現状について理解した上で、理想としたい音楽の授業像について考えることができる。

【自己表現力】音楽科の指導法について、基本的な教師の構えについて説明することができる。

【課題解決を求めて探究する能力】音楽科の指導法について、我が国の音楽科教育の現状、問題点を踏まえたうえで、自分なりの解決策を構築し、説明することができる。

授業計画

第1回	<ul style="list-style-type: none"> ・本講座ガイダンス ・我が国の小学校音楽科教育の現状や課題について学ぶ 【事前学修 120分】 ⇒web シラバスを熟読しておく。 【事後学修 分】
第2回	小学校音楽科の目標、内容などについて、「学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」をもとに学ぶ 【事前学修 120分】 ⇒「学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編」の162～169ページを読んでおく。 【事後学修 分】

<p>第 3 回</p>	<p>音楽の授業で行われる「常時活動」について、その意義と実際の活動について学ぶ。具体的には、リズムを主体とする音楽ゲームをいくつか行い、常時活動の意義について考えたりディスカッションしたりする。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 4 回</p>	<p>「常時活動」から発展して行われる「音楽づくり」の授業について学ぶ。具体的には、常時活動で行ったリズムゲームを「音楽づくり」の学習活動に発展させ、児童が実際に音楽をつくるまでの過程を追体験、記録の視聴などを通して学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 5 回</p>	<p>「歌唱」の授業について、その意義や指導法について学ぶ。具体的には、3 学年に担当されている歌唱共通教材「春の小川」を用いて、教材の価値、指導法の実践について学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 6 回</p>	<p>歌唱指導における「ドレミ体操」の意義について、実際に体験を通して学ぶ。具体的には、さまざまな歌唱教材で「ドレミ体操」がどのように学習に生かされるかを体験的に学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 7 回</p>	<p>小学校 6 学年で学ぶ歌唱共通教材 24 曲について、その全貌をとらえ全曲を鑑賞し、それらの特徴などを理解する。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 8 回</p>	<p>「器楽」の授業について、その意義や指導法について学ぶ。具体的には、リコーダーの導入期の指導法について体験的に学んだり、複数の打楽器の奏法、その指導法などについて学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 9 回</p>	<p>【オンデマンド配信①】学習指導要領が示している「3つの資質・能力」の育成の重要性について、今なぜ3つの資質・能力育成が必要なのか、その背景と音楽科教育のあり方、指導法のあり方について学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>
<p>第 10 回</p>	<p>【オンデマンド配信②】第 9 回までの講義を振り返り、学んだことが実際の小学校でどのような授業として展開されているか、いくつかの事例を紹介し、それぞれの授業の意義や指導法の実践について学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】 【事後学修 分】</p>

第 11 回	<p>【オンデマンド配信③】「鑑賞」分野の授業についてその指導法を学ぶ。具体的には、鑑賞学習の意義についての説明、実際の指導法における4つのタイプ、それぞれの具体的な実践事例について学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】</p> <p>【事後学修 分】</p>
第 12 回	<p>「鑑賞」分野の授業についてその指導法を学ぶ。具体的には、いくつかの例曲を取り上げ、実際に授業を体験する。その体験をもとに鑑賞授業の指導法について理解し、鑑賞授業の意義について考える。</p> <p>【事前学修 分】</p> <p>【事後学修 分】</p>
第 13 回	<p>「鑑賞」分野と「音楽づくり」分野を結合した題材について学ぶ。一つ一つの教材を単独で指導するのではなく、複数の教材、複数の分野を併せて扱うことでより効果的に、より意義の深い学びにすることが可能であることを実際の授業を体験することを通して学ぶ。</p> <p>【事前学修 分】</p> <p>【事後学修 分】</p>
第 14 回	<p>第13回目の講義の続編で、「鑑賞」の授業から発展して「音楽づくり」の授業へと発展し、実際に音楽をつくる活動を体験する。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら、実際に活動できない場合には、児童が活動している場面の記録などを視聴して、講師の解説を聴きながら音楽づくりを疑似体験し、音楽づくりの楽しさ、意義について考える。</p> <p>【事前学修 分】</p> <p>【事後学修 分】</p>
第 15 回	<p>「質疑応答」及び「まとめ」</p> <p>【事前学修 120 分】</p> <p>これまでの講義の内容について振り返り、小学校音楽科の存在意義や目的、内容や指導法についてまとめておく。</p> <p>【事後学修 分】</p>
授業計画の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす場面があります。なるべく動きやすい服装で参加してください。 ・第8回の講義では「器楽」を扱います。ソプラノリコーダーを持っている人は持参してください。

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

授業時間外の学習方法

集中講義なので、各講義の直前直後の学修が困難な回が多いと思われます。

各回の講義では積極的にメモを取り、その記録をその日のうちに復習することが求められます。

受講に関するアドバイス

音楽が得意な学生さんはもとより、小学校時代に音楽が苦手だったという学生さんにも集まっていたかと思います。もしかすると、これまでの音楽の授業に対する価値観がガラリと変わるかもしれません。

成績評価の方法・基準

評価方法	割合	評価基準
レポート	60%	我が国の小学校音楽科の現状や課題を踏まえ、課題を解決するためにどのような授業を行うべきか、本講座で学んだことをもとに自らの考えを記述することができる。
平常点	40%	本講座に主体的、積極的に参加している。

※すべての授業に出席することが原則であり、出席自体を加点の対象とすることはできません。

注意事項	

※履修している学生に対して事前に説明があった上で、変更される場合があります。

実務経験に関する記載	

履修登録制限・備考	

教科書・参考文献等

教科書

- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編（東洋館出版社） ISBN9784491034652
- ・小学音楽「音楽のおくりもの3」（3年）（教育出版） ISBN9784316203997
- ・小学音楽「音楽のおくりもの5」（5年）（教育出版） ISBN9784316204017

参考文献

書名	著者名	出版社	備考
小学音楽「音楽のおくりもの1」（1年）		教育出版	
小学音楽「音楽のおくりもの2」（2年）		教育出版	
小学音楽「音楽のおくりもの4」（4年）		教育出版	
小学音楽「音楽のおくりもの6」（6年）		教育出版	
高倉弘光の音楽授業「必ず身に付けたいテッパン指導スキル55」	高倉弘光	明治図書	

参考文献コメント

参考になるウェブページ